

令和7年度認定こども園頬娃保育園自己評価

公表日：令和7年12月17日

本自己評価は、保育所保育指針に基づき、職員による4件法評価の結果をもとに総合的に整理したものです。

評価項目	評価の視点	総合評価
教育・保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none">・年齢・発達に応じた年間・月案が作成されている・保育にねらいがあり、活動に反映されている・遊びを通した学びが保障されている	十分に達成されている
子ども理解と援助	<ul style="list-style-type: none">・子ども一人ひとりの育ちや特性に応じた関わりができる・気になる子への対応が組織的に行われている・保護者との共有がなされている	概ね達成されている
子ども主体の保育	<ul style="list-style-type: none">・子どもが選べる活動や環境が用意されている・自発的な活動や試行錯誤を見守る姿勢がある・子どもの声を保育に反映している	概ね達成されている
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none">・日常的な連絡が丁寧に行われている・保護者との懇談や意見交換の機会がある・保護者の意見を園運営に活かしている	概ね達成されている
地域との関わり	<ul style="list-style-type: none">・地域行事への参加・協力がある・地域資源を活用している・地域の人との交流の機会がある	概ね達成されている
安全・衛生の確保	<ul style="list-style-type: none">・安全点検や衛生管理が徹底されている・災害時対応マニュアルや訓練が整備されている	十分に達成されている
食育の推進	<ul style="list-style-type: none">・食への関心を育てる活動がある・食事マナーの指導が行われている・栄養士との連携がある	概ね達成されている
職員の資質向上とチーム連携	<ul style="list-style-type: none">・研修参加や職員間の連携がある・協力体制が確保されている	概ね達成されている
自己評価と改善	<ul style="list-style-type: none">・年度内に自己評価が実施されている・改善策が検討されている・第三者の意見も反映されている	概ね達成されている

園長総評

職員間の連携については概ね行われている一方、保育観の共有や意見交換のしやすさについては課題が見られました。職員同士で意見を伝えることへの難しさや、園全体で保育について語り合う機会の必要性が、自己評価を通して明らかになっています。今後は、安心して意見を出し合える環境づくりを進めながら、よりあたたかい園づくりにつなげていきたいと考えています。